

# 民生費予算について

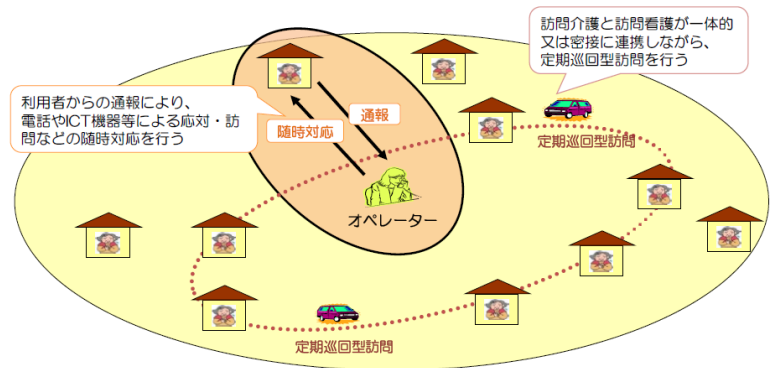
—平成24年度9月補正予算概要—

こどもからおとしよりまで、すべての人がいきいきと生活できる環境づくりを推進するため、民間の保育所や障害者用ケアホームの整備補助のほか、県のモデル事業補助金を活用し、在宅の高齢者を支える仕組みづくりへの補助等を実施。

## 1. 定期巡回・随時対応型介護サービス推進事業 17,000千円

中重度の要介護高齢者の在宅生活を支えるため、**定期巡回訪問と随時対応(※)**を行う民間事業者に対し、その体制整備等に係る助成を行うもの。【県のモデル事業】

※ヘルパー等が1日複数回訪問介護・看護するほか、必要に応じて24時間365日電話相談・訪問を実施することにより、利用者・家族の生活の安定・安心を確保。



## 2. 見守り生活サポート支援事業 4,741千円

地域の市民活動として、新たに**高齢者の見守り体制(※)**の整備に取り組むNPO法人に対し、その体制整備等に係る助成を行うもの。

※現在実施している日中の人的見守りを補完するため、見守り機器(12時間室内に動きがないとセンサーが反応し、指定した携帯電話などへ通報)を設置することにより、24時間365日見守ることができる仕組みを構築。

## 3. 民間保育所施設整備事業 89,375千円

待機児童の解消をめざし、市内31か所目の認可保育所(15か所目の民間保育所)を整備する社会福祉法人に対し、その整備費用に係る助成を行うもの。  
(大谷地区今泉地内に平成25年4月1日開所予定)



### ●その他の施策 4,268千円

・障害者施設整備費補助事業 3,316千円

ケアホーム(共同生活住居)を整備・運営する社会福祉法人に対し、その整備費用に係る助成を行うもの。(上平地区南地内に平成25年6月1日開所予定)

・難聴児補聴器購入費助成事業 952千円

身体障害者手帳の交付対象とならない18歳未満の軽度・中等度の難聴児の補聴器購入に係る費用について、新たに助成を行うもの。